



## 佐賀牛A5ラウンド with むつごろう R5.8.26(土)佐賀市立本庄小学校 (+Zoom)

今年も暑さが厳しい中、全国津々浦々から「九州体育・保健体育ネットワーク～佐賀牛 A5 ラウンド with むつごろう～」に、県内外から多くの先生方に本庄小学校で現地参加とオンラインのハイブリッド方式で御参加していただきました。本県の実践発表からブレイクアウトセッションに熱い議論を交えながら有意義な時間を過ごすことができました。

### 1. 実践発表1「子どもがドキドキ・ワクワクする探究的な学習を目指して」

- (1) 発表者：佐賀市立神野小学校 教諭 今泉 唯心
- (2) 対象：4年生「ソフトバレーボール」の手立て



### 2. 実践発表2「主体的に課題を解決しようとする児童を育む体育学数の在り方」

- (1) 発表者：嬉野市立塩田小学校 教諭 筒井 嵩介
- (2) 対象：6年生「バスケットボール」

### 3. 実践発表3「中学保健体育の今昔」

- (1) 発表者：佐賀県教育委員会事務局 指導主事 兼武 巖
- (2) 対象：特別支援学校及び公立中学校勤務時代の授業と現行の学習指導要領のポイント



### 4. 「実践発表及びグループディスカッションのまとめ」情報提供

- (1) 説明者：佐藤 豊先生
- (2) 説明のポイント

オンライン参加を交えながらも、実に4年ぶりとなる参集型の「佐賀牛 A5ラウンド with むつごろう」ラウンドは大変充実したものとなりました。実践発表1, 2は、「どのようにしたら児童生徒が運動の持つ面白さを味わえるか」を追求した授業実践で、やはりこの想いを私たちは大切にしなければならないと改めて感じました。また、グループディスカッションでは、「単元を貫く問い」は佐賀県の小学校ではよく取り入れられているという意見が他県から出ていました。このように各県の持ち味を共有しお互いに高まりあえるのもこの九州ネットワークの良さと感じました。実践3については、ICT等、時代と共によりよく変化していく「流行」を効果的に取り込んでいきながらも、体育・保健体育科がより良い授業を願う想いや取組は今も昔も変わらない「不易」であることを改めて感じることができました。(※実践3発表者談)

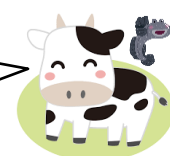
最後は佐藤先生のお話の中に「学習指導要領の変遷」の歴史がありました。私たちが指導している学習内容は、先人が積み上げてきた歴史を知ること、更に厚みを増していくのではないかと感じました。

終了後は、こちら4年ぶりとなる情報交換会を開催することができました。

このようにして、参加者の学びはさらに深まった令和5年度の「佐賀牛 A5ラウンド with むつごろう」ラウンドでした。

来年も佐賀で  
●●  
お待ちモウしあげます!

まっまへす!



(文責：兼武 巖)